

第5回 桑島地区地域座談会報告

日時	平成29年11月1日(水) 19:00～20:50		
テーマ	家族・地域の変化 ～住民を支える小地域ネットワーク～ 防災・防犯 ～次世代につなぐ、防災コミュニティ～		
会場	桑島老人憩いの家	参加者数	28名
<p>第5回座談会では、桑島地区でこれまで開催した座談会で、この地区の福祉課題として挙げられたもののうち、「住民を支える小地域ネットワーク」と「次世代につなぐ、防災コミュニティ」をテーマとして挙げ、意見交換を行っていただきました。</p> <p>「住民を支える小地域ネットワーク」については、世代を越えた交流の場を作っていくことから始め、若者のネットワークと地域団体活動の融合や、見守りネットワーク、住民が相談しやすい環境づくりを目指そうとの意見がだされました。</p> <p>また「次世代につなぐ、防災コミュニティ」については、まず避難時の連絡網の作成などをはじめとする近隣住民との情報共有をはかり、防災情報を整備していく中で、次世代で地域の防災をになう人材の育成を目指そうと話し合われました。</p> <p>地域住民の皆様には5回にわたって地区座談会に参加いただき、誠にありがとうございました。</p>			
  			

第4回 桑島地区地域座談会報告

日時	平成29年10月1日(土) 19:00～20:55		
テーマ	桑島地区の地域コミュニティづくり ～世代をつなぐ地域交流～		
会場	桑島老人憩いの家	参加者数	20名
<p>桑島地区は、住民同士や高齢者と子どもの繋がり希薄化に加え、若い世代が地域活動に無関心で担い手が不足していることなどが、前回の座談会で課題として挙がっていました。そこで、今回の座談会のサブテーマを「世代をつなぐ地域交流」として、課題解決へ導くための活動について、5班に分かれて活発な意見交換を行っていただきました。</p> <p>発表では、「開始期」に、挨拶運動や学校・PTA活動と連携した地域交流の呼びかけや、地域で活動している団体のPR活動を、「中間期」には、既存のイベントを充実させて若者が興味を持つような内容を企画したり、高齢者と孫世代を繋ぐための教室や昔遊び(お手玉・めんこ)でのふれあい活動を、そして「終了期」には、誰もが気軽に立ち寄れる拠点(居場所・機会)を確保し、最終的には近隣地区と合同でポートルース鳴門や図書館を活用した大きなイベントを実施したり、子ども神輿を復活させて地域活性化に繋がりたいとまとめていただきました。</p> <p>今回の座談会で出された地域の目標やご意見を地域福祉活動計画に盛り込み、これから地域や社協で取り組んでいくことなどを参加者全員で共有できた座談会となりました。</p>			
  			

第3回 桑島地区地域座談会報告

日時	平成29年7月1日(土) 19:00 ~ 20:55		
テーマ	桑島地区の課題抽出 ~困りごとから解決への役割を考えよう~		
会場	桑島老人憩いの家	参加者数	24名
<p>桑島地区にお住まいの40代から80代の方々24名にご参加いただき、地域課題を抽出して4つの役割りに分類する作業を行いました。</p> <p>①自分や家族、隣近所では、「子どもの見守り。老老介護。障がい者への理解。若い世帯の減少。」②町内、地域住民では、「商店(八百屋や魚屋)が衰退してコミュニティ拠点不足。近所付き合いの希薄化。町内会・消防団への加入が減少。独居高齢者の個人情報不届。地域の担い手不足。住民に対する情報発信・連絡方法。」③社協では、「認知症高齢者への支援。交通弱者に対する移送サービスの充実。趣味を楽しむ場所(教室)の開設。家具の固定等地震対策。3世代交流の実施。若者が交流できる場の提供。」④行政では、「災害時に避難場所が遠い・障がい者への対応。下水道行政への不安。緊急車両が入れない道路の対策。空き家対策。空き地の衛生管理。移動販売等の情報提供。働く場所がない。少子化に伴う教育環境の改善。」といった課題が挙げられました。</p> <p>時代の変化に伴って生まれてきた課題をこれからどう解決していくのか。今回の座談会を通して住民の皆様から解決のヒントをたくさんいただきましたので、これからの時代にフィットした仕組みをみんな「が」考えていきましょう。</p>			
			

第2回 桑島地区地域座談会報告

日時	平成29年5月1日(月) 19:00 ~ 20:45		
テーマ	福祉資源マップづくり ~桑島地区の福祉資源を掘り起こす!~		
会場	桑島老人憩いの家	参加者数	25名
<p>桑島地区にお住まいの30代から80代の方々25名にご参加いただきました。うち、市民会議委員1名を含む聴覚に障がいのある3名の住民にも参加いただき、手話通訳を介して活発な意見交換を行いました。</p> <p>桑島地区は、商業施設(大型スーパー等)や公共施設(図書館、ポートレース鳴門)、スポーツ施設(テニス場、サッカー場、体育館、剣道場)、交通(JR鳴門駅、高速バス停)の利便性に恵まれており、JR鳴門駅周辺の飲食店やビジネスホテルに加え葬祭場も多いことが特長として挙げられました。福祉(介護)事業所が増えてきたことや、津波避難場所が6か所もあり充実していることと、一方で、病院(内科)が少ないことや、住宅地の道が狭く防災面で不安を感じている方がおられることも分かりました。</p> <p>特に今回の座談会では、聴覚に障がいのある住民の参加により、情報が十分に伝達されていない現状や、どういう事に生活のしづらさを感じているか等の課題も浮びました。今後はこの地区の充実している施設やサービスをもっと活用するためにどの様に情報共有していくかが課題で、今回の座談会は非常によい機会となりました。人の関係づくりを活発に進めていくことで、福祉資源もより活用されていくのではないかと印象を持ちました。</p>			
  			

第1回 桑島地区地域座談会報告

日時	平成29年4月1日(土) 19:00 ~ 20:35		
テーマ	桑島らしさってなんだろう(桑島地区の魅力発見)		
会場	桑島老人憩いの家	参加者数	25名
<p>お忙しい中、桑島地区にお住まいの40代から80代の方々25名にご参加いただきました。</p> <p>初めに、徳島大学の柳沢先生より“地域福祉計画・地域福祉活動計画”の必要性等についてお話しがあり、皆さん真剣に耳を傾けていました。</p> <p>意見交換では5グループに分かれ、伝統文化や、商業・産業、医療、教育等について、ざっくばらんに意見が交わされました。</p> <p>最後の発表では、「施設が充実している」、「交通が便利」、「中心に山があるので避難するのに近くて安心」、「買い物が便利」といった“桑島の魅力”を参加者全員で共有することができました。</p> <p>生活の便利さに加え、伝統や人との繋がりを大切にしている地域だと感じました。</p>			
  			